



2026年

加温ハウス サクラランボ防除暦

JA中野市園芸課

散布日	散布時期	散布薬剤(水100ℓ当り)	収穫前使用時期	使用回数(以内)	散布量(ℓ/10a)	対象病害虫(発生病害虫)	注意事項	
月日	【特別散布】 発芽前	(水98ℓ) スプレー油	2ℓ	発芽前	—	300	カイガラムシ類	①【カイガラムシ類幼虫対策】 アプロードフロアブルの1,000倍 (7日前、2回)を加用する。
月日	【特別散布】 開花前	樹幹散布 フェニックスフロアブル	200mℓ	開花期まで	1回	5~200	コスカシバ	①樹幹部及び主枝に十分散布する。
月日	開花直前	①展着剤(ハイテンパワー) オンリーワンフロアブル サムコルフロアブル10	10mℓ 50mℓ 40mℓ	前日 前日	3回 3回	350	灰星病(花腐れ) ハマキムシ類 コスカシバ ケムシ類 オウトウショウジョウバエ	
特別散布：開花期間中に、灰星病(花腐れ等)の発生が心配される場合は、ベルクートフロアブルの2,000倍(7日前、3回)を散布する。 *ベルクートフロアブルは5℃以下では固化する場合があるので、注意する。								
月日	落花直後 <u>訪花昆虫 引き上げ後</u>	② バイスロイドEW ナリアWDG	25mℓ 50g	7日前 前日	2回 3回	400	灰星病 炭そ病 黒斑病 幼果菌核病 褐色せん孔病 (ショウジョウバエ類)	① この散布はミツバチへの影響が大きいため、ミツバチ引き上げ後に散布する。 ② ナリアWDGはぶどう(ピオーネ)洋なし(ル・レクチエ)等に薬害が生じるので飛散しないようにする。
特別散布：								
【灰星病対策】ベルクートフロアブルの2,000倍(7日前、3回) *ベルクートフロアブルは黄化期の散布では薬害(着色障害)が生じるおそれがあるので、使用しない。								
【ショウジョウバエ類対策】ディアナWDGの10,000倍(前日、2回)を散布する。								
月日	肥大期 【果実黄化前】	③ オンリーワンフロアブル コテツフロアブル	50mℓ 50mℓ	前日 7日前	3回 2回	500	灰星病 炭そ病 黒斑病 褐色せん孔病 ナミハダニ オウトウショウジョウバエ ウメシロカイガラムシ	
月日	収穫終了後	④展着剤(ハイテンパワー) エコマイド顆粒水和剤 オキシラン水和剤 ダイアジノン水和剤34	10mℓ 50g 166g 100g	前日 収穫後～落葉期 14日前	1回 3回 2回	500	せん孔病 ハダニ類 ウメシロカイガラムシ アメリカヒロヒトリ ハマキムシ類	①【ドリフト注意】 エコマイド顆粒水和剤は、りんご・とうじょ・なし・ぶどう以外登録がないので、他品目に飛散しないよう注意する。
月日	6月中旬	⑤展着剤(ハイテンパワー) トレノックスフロアブル サムコルフロアブル10	10mℓ 200mℓ 40mℓ	21日前 前日	5回 3回	500	褐色せん孔病 ハマキムシ類 コスカシバ ケムシ類	
月日	7月上旬 (前回から14日後)	⑥展着剤(ハイテンパワー) ダニオーテフロアブル トレノックスフロアブル	10mℓ 50mℓ 200mℓ	前日 21日前	1回 5回	500	ハダニ類 褐色せん孔病	①ダニオーテフロアブルを散布する際は、 銅剤(オキシラン水和剤等)散布後45日以降とする。
月日	7月下旬 (前回から14日後)	⑦展着剤(ハイテンパワー) トレノックスフロアブル ダイアジノン水和剤34	10mℓ 200mℓ 100g	21日前 14日前	5回 2回	500	褐色せん孔病 ウメシロカイガラムシ アメリカシロヒトリ ハマキムシ類	
月日	8月上旬 (前回から14日後)	⑧展着剤(ハイテンパワー) オキシラン水和剤	10mℓ 166g	収穫後～落葉期	3回	500	せん孔病	①【ハダニ類対策】 コロマイド乳剤の1,000倍(7日前、1回)を加用する。 ②【せん孔病対策】 9月上旬にオキシラン水和剤の600倍(収穫後～落葉期、3回)を特別散布する。

当防除暦の複製・コピーを禁止します

◆ 混用例：展着剤⇒液剤⇒乳剤⇒顆粒水溶剤⇒水溶剤⇒フロアブル⇒ドライフロアブル(D F)⇒顆粒水和剤(W D G)⇒水和剤